

## ICT×防災 “水利アプリ”



水利アプリの画面イメージ



**火災現場に近い水利が瞬時にわかるアプリができました。**

本市では、新たなビジネスチャンスや地域の課題解決などに向け、オープンデータ（行政データの積極的な公開）を推進しています。



このアプリは、本市のオープンデータとして公開している防災データ（防火水槽・消火栓等）を活用し、地元の民間のシステムエンジニアが無償で開発してくれました。

消防団員からは「全団員がいつでもどこでも水利場所を確認できるので便利」と好評です。